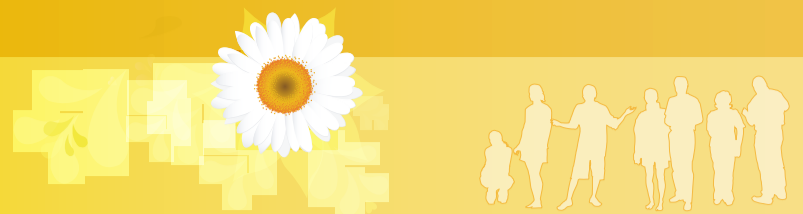


平成28年第3回定例区議会

# 代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

## ちよだの声

小枝 すみ子

### 千代田市構想について

**問** 15年前、区長就任時に目指した千代田市構想について①区民の認知度と支持は②構想実現後の東京都政は③構想は継続していくのか。

**答** 特別区の自治権には制約がある。構想は、自主・自律の区政運営を行うという意思表示である①名前が定着していないとの指摘があるのは事実②財源配分や役割分担の議論が必要③引き続き23区で協力し進めていく。

### 区有財産について

**問** 石川区政では、急速な区有財産の貸付・処分が進んだ。区民ファーストの区政が実現したか。自己評価を問う。

**答** 総論では評価されているものと考え。意思決定の透明性を確保する等、今後とも手順・手続き等のルール改善を継続していく。

### 街路樹伐採について

**問** 今夏、自転車道路整備等のため、幹線道路3カ所の街路樹300本の伐採が始まった。区の各種計画等では、街路樹の有用性や保存育成が明記されている。直ちに中止すべき。

**答** 今回の整備は、地域と時間をかけて検討し、警察との協議も踏まえたもの。また、関係機関や地域への説明も行ってきた。今後とも防災の観点、地域の愛着等を配慮し整備していく。



## 公明党議員団

大串 ひろやす

### 心の豊かさを実感できるまちへ

**問** 経済性や利便性のみでは良いまちはできない。心の豊かさを実感できるまちづくりへの転換が必要だ。ハード偏重ではなく、街並みやにぎわいのある沿道、またコミュニティなどソフト面に重きをおいたまちづくりだ。そこで、これからのまちづくりについて基本的な考え方を問う。

**答** 住民が地域の課題と将来像を共有し、地区計画など皆で合意したルールにより、ハード、ソフト含めて主体的にまちづくりを行うことが大切だ。今後とも地域発意のまちづくりを積極的に支援していく。

### 豊かな沿道空間の形成について

**問** にぎわいや緑豊かな沿道は、心の豊かさを実感できるまちの重要な要素である。そこで、区として①どう豊かな沿道空間を形成していくのか②指針を策定し推進してはどうか。

**答** ①にぎわいの創出、回遊性の向上、魅力の向上を目的に、道路及び沿道の多目的な利用が認められてきている。車社会から人優先の社会認識が進むことが予想されることも踏まえ、沿道の機能更新等の機会を捉え、地域と協議し進めていく②指針の策定は、区民の意識啓発に大きな意味がある。道路整備の機会を捉えて、一定の実績のもと検討していく。



千代田区都市計画図

